

ミズノ株式会社

第99期(2012年3月期)

第2四半期

決算説明資料



・この説明資料には、2011年11月9日現在での将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
・世界経済・競合状況・為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

ご説明内容



- ◆ 11年度第2四半期業績結果について
- ◆ 11年度年間見直し修正について
- ◆ 所在地別の概況

損益計算書（第2四半期累計）



前年同期比、売上高は16億9,300万円増収(2.2%増)、経常利益は1億700万円増益(2.8%増)

(億円)	10年度 第2四半期累計	11年度 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	763	780	+2.2%
売上総利益	328	334	+1.8%
売上総利益率	43.1%	42.9%	-0.2P
販売費及び一般管理費	287	291	+1.2%
販管費率	37.7%	37.3%	-0.4P
給与手当・賞与	99	102	+2.7%
広告宣伝費	52	55	+5.9%
営業利益	41	43	+5.7%
営業利益率	5.4%	5.6%	+0.2P
経常利益	37	38	+2.8%
経常利益率	5.0%	5.0%	±0.0P
四半期純利益	17	22	+25.1%
円/1USD	91.18	81.74	
円/1GBP	135.44	129.51	
円/1EUR	114.80	114.08	

貸借対照表



営業キャッシュ・フローの増加により、有利子負債の返済が進み、かつ現金及び預金が増加した。また、利益剰余金の増加を主要因として、純資産は増加した。

(億円)	10年度 第2四半期末	11年度 第2四半期末	前年同期比増減
資産合計	1,228	1,235	+7
現金及び預金	150	164	+14
受取手形及び売掛金	266	274	+7
棚卸資産	231	239	+7
有形固定資産及び無形固定資産	383	373	△9
投資有価証券	71	68	△3
繰延税金資産(流動・固定)	41	44	+2
負債合計	475	473	△1
短期有利子負債	83	52	△31
長期有利子負債	78	98	+20
純資産合計	752	761	+9

業績結果の概要（累計）



日本国内は東日本大震災の影響によりゴルフ品販売が不振ながら、各地域でランニングシューズの販売が堅調に推移し、連結業績を牽引。**対前年同期**

売上高 **780億円** **16億円増(2.2%増)**

換算為替の影響 **△16億円 (2.1%減)**

為替影響以外の増減 **+32億円 (4.3%増)**

- ▶為替の影響をニュートラルとすると、日本3%、欧州5%、米州10%それぞれ成長。
- ▶全ての地域でランニングシューズの販売が堅調に推移し、円高による目減りを吸収し増収。

営業利益 **43億円** **2億円増(5.7%増)**

- ▶売上総利益率は0.2ポイント低下したものの、増収並びに販売費及び一般管理費の抑制(販管費率は0.4ポイントの低下)により営業増益。

経常利益 **38億円** **1億円増(2.8%増)**

- ▶外貨建て資産の換算による為替差損の増加など営業外損益が悪化したが、営業増益により吸収し経常増益。

純利益 **22億円** **4億円増(25.1%増)**

- ▶経常増益、特別損失の減少及び法人税等負担の軽減などにより、四半期純利益は増益。



売上の増減分析 - 所在地別

◆ 換算為替の影響を除いた所在地別の売上増減と換算為替影響



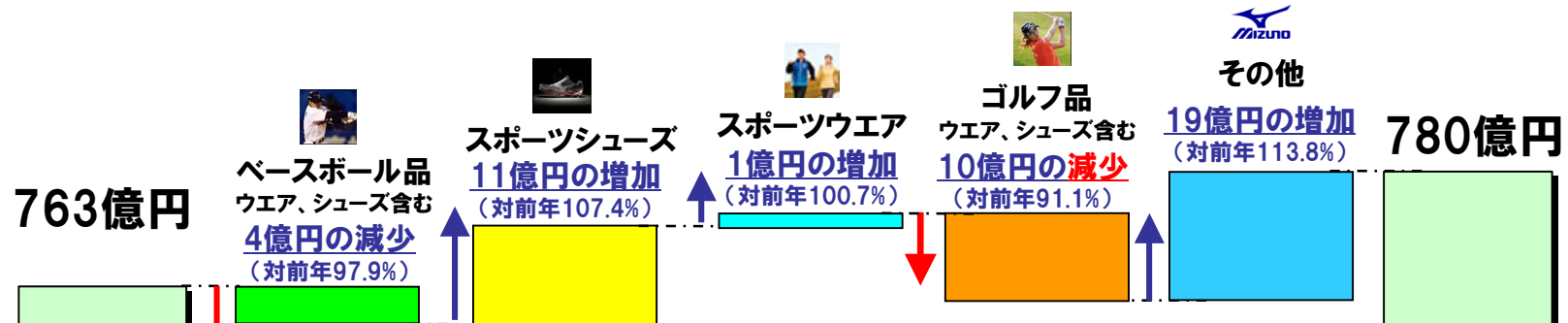
10年度Q2

11年度Q2 6/15

売上の増減分析 - 商品別



◆ 為替の影響を含む、連結商品別の売上増減



- ▶ベースボール品: 日本で苦戦、米州では堅調に推移し、連結では微減。
- ▶スポーツシューズ: 全てのエリアで堅調に推移。欧州・米州では一層のシェアアップの余地大。
- ▶スポーツウェア: 日本、米州、アジア・オセアニアで微増。欧州で横ばい。連結では微増。
- ▶ゴルフ品: 米州は市場縮小の中で善戦。日本は不振。欧州、アジア・オセアニアは微減。

▶連結商品別売上高 11年度Q2

	201億円	170億円	138億円	110億円	159億円
ベースボール品		スポーツシューズ	スポーツウェア	ゴルフ品	その他
10年度Q2	205億円	158億円	137億円	121億円	140億円

10年度Q2

11年度Q2 7/15

主な経営指標



収益性、資本効率性、安全性、投資価値など各経営指標が改善。

	10年度 第2四半期	11年度 第2四半期	前年同期比
総資本事業利益率(ROA)	3.4%	3.6%	+0.2P
自己資本利益率(ROE)	2.4%	3.0%	+0.6P
自己資本比率	61.1%	61.5%	+0.4P
一株当り利益(EPS)	¥14.31	¥17.91	+¥3.60
株価純資産倍率(PBR)(倍)	0.62	0.66	+0.04
基準株価(各年度9月末日)	¥372	¥403	—
配当性向	34.9%	27.9%	—

通期業績予想の修正について



最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月19日に公表した業績予想を下記の通り修正します。

平成24年3月期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(金額の単位:億円)

	(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
売上高	億円 1,500	1,520	1,520	±0	±0.0
営業利益	億円 45	44	50	+6	+13.6
経常利益	億円 44	45	45	±0	±0.0
当期純利益	億円 28	25	27	+2	+8.0
1株当たり 当期純利益	円 銭 22.78	20.07	21.67		

(修正の理由)

- 東日本大震災による影響が当初の見込みより限定的であったことから、日本国内で主力のランニングシューズの売上が計画に比べ好調に推移したため、営業利益は当初予想値を上回る見通しです。一方で、為替変動の影響に伴い経常利益は当初予想値を据え置きます。また、税金費用の見込み額を再精査し当初予想値を修正しています。
- なお、平成23年5月19日に決算説明資料に記載した中期計画については変更せず、当年度の通期決算の発表時(平成24年5月)に更新し公表する予定です。

各リージョン、事業の概況



◆ グローバル ビジネス ユニット(グローバルな戦略意思決定の単位)

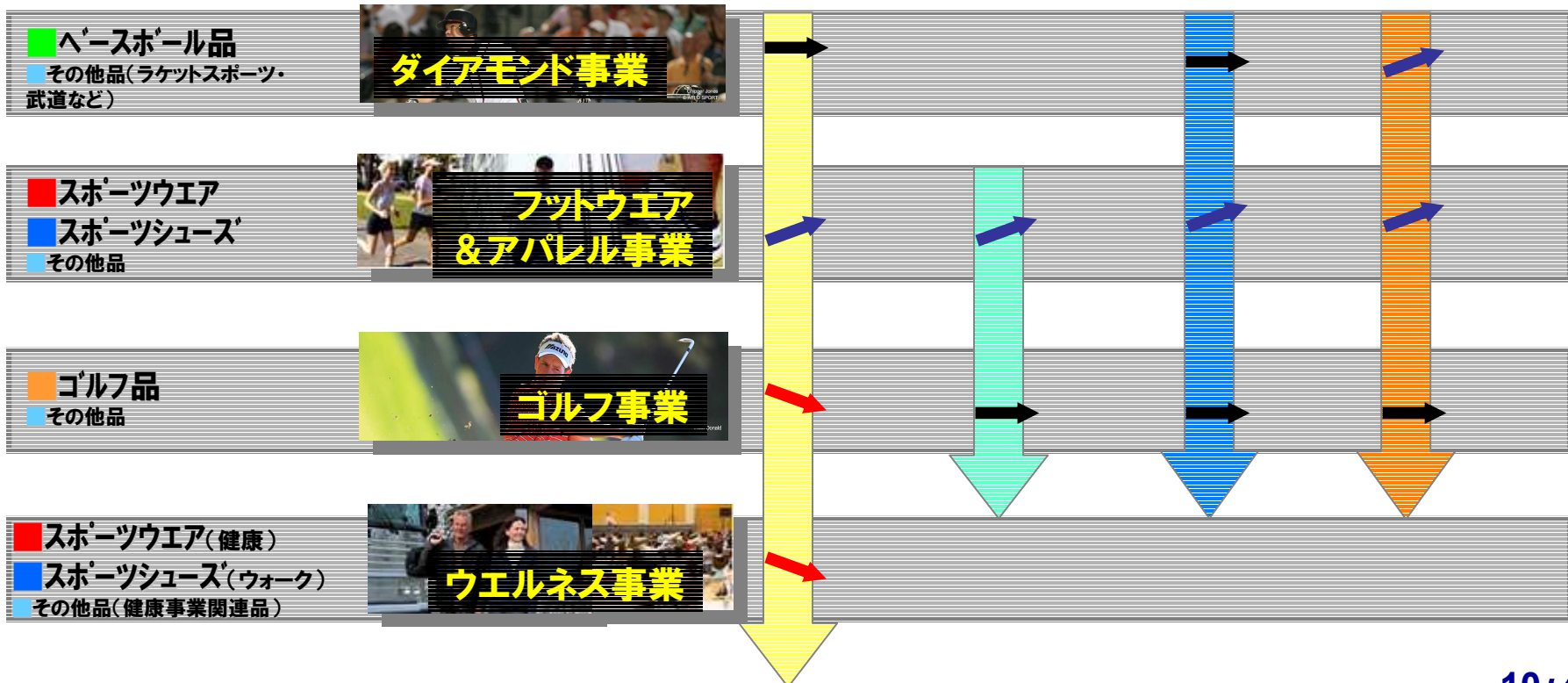
◆ 11年度売上高の概要(対前年成長率) 為替の影響を除いた現地通貨ベース

+5%以上成長

-5%~5%

-5%以上縮小

日本 欧州 米州 アジア



11年度実績(2Q累計)日本



◆ 実績概要と推移

金額:億円

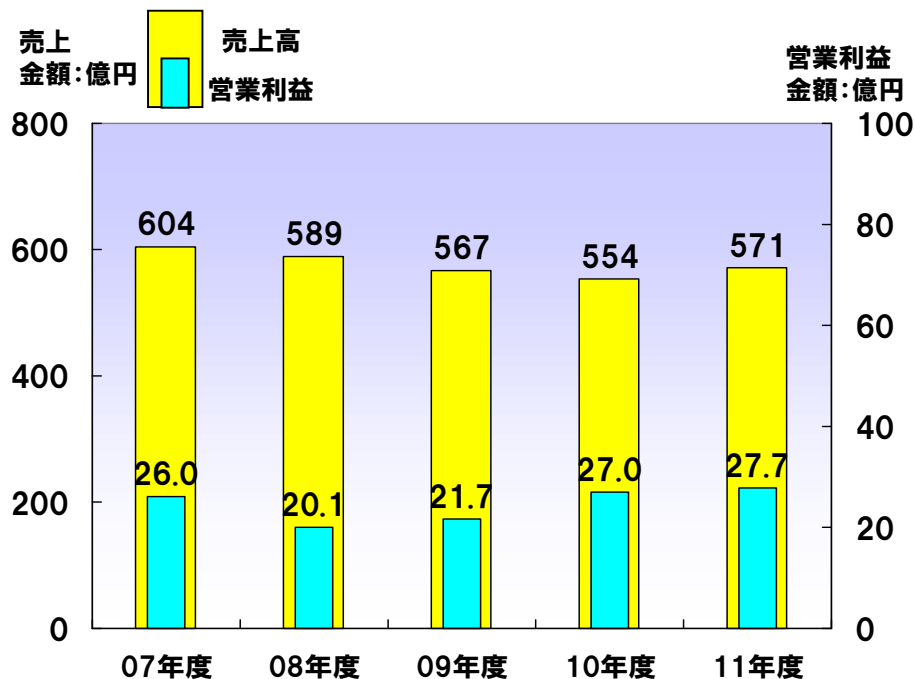
▶ 11年度2Q累計 実績(事業別)

(アジア輸出含む)

	日本計	フットウェア & アパレル	ダイヤモンド	ゴルフ	ウエルネス	その他
売上高	571	150	210	60	82	69
前期比	103%	106%	101%	90%	92%	-

◆ 11年度 状況

- ◆ フットウェア & アパレル事業: ランニングシューズを始めとし、各種目のシューズで売上を伸ばす。アパレルもトレーニングアパレルを中心に売上増加。
- ◆ ダイヤモンド事業: 当初、東日本での屋外活動制限などが売上に影響したが、半期では昨年をやや上回るまで回復
- ◆ ゴルフ事業: 1Qは震災影響大で売上高は対前年1割以上落ち込んだが、2Qから西日本を中心に回復傾向にあり、2Q 3ヶ月ではほぼ対前年並みまで回復。



◆ 今後の施策・展望

- ◆ フットウェア & アパレル事業: 大阪マラソンの盛況を受け、ランニング関連を更に強化。
- ◆ ダイヤモンド事業: 「ダイヤモンドヒーロー」シリーズなどパーソナル需要対応の商品を強化。
- ◆ ゴルフ事業: カスタムフィッティングクラブの拡販などで、震災影響による売上減を取り戻していく。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

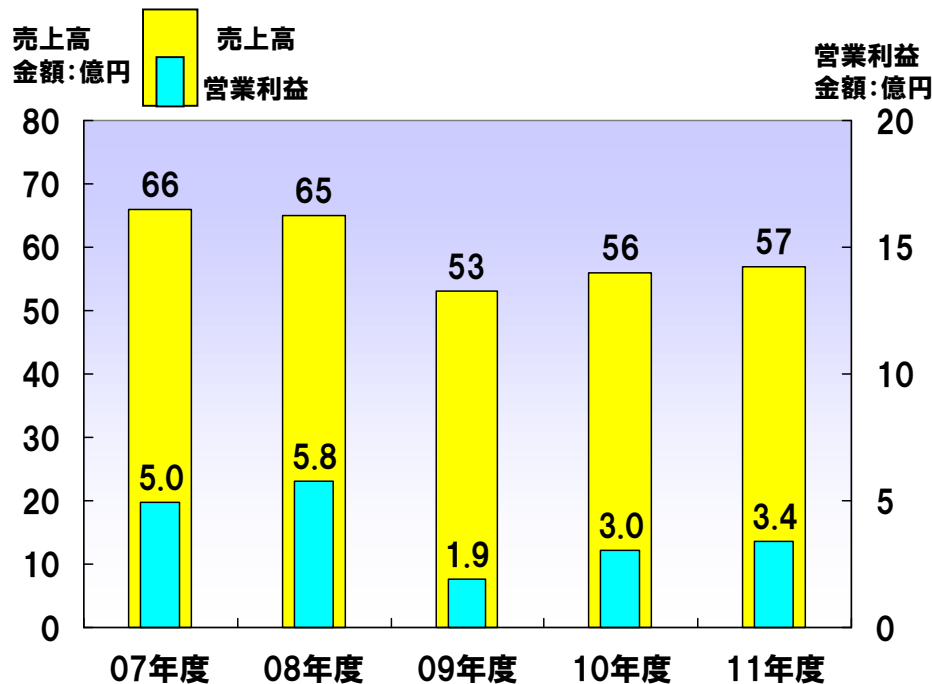
11年度実績（2Q累計）欧州



◆ 実績概要と推移

▶ 11年度2Q累計 実績(事業別) 金額:億円

	欧州計	フットウェア & アパレル	ゴルフ
売上高	57	43	14
前期比	101%	105%	94%
為替影響 除く	105%	108%	97%



◆ 11年度 状況

- ◆ フットウェア & アパレル事業: 現地通貨ベースでランニングシューズを中心にフットウェアが2桁の売上成長を果たす。
- ◆ ゴルフ事業: 市場が縮小傾向の中、カスタムフィッティングによるゴルフクラブ販売の促進などで売上を確保。

◆ 今後の施策・展望

- ◆ フットウェア & アパレル事業: 原材料値上がりによる粗利への影響が懸念されるが、販売数の増加で粗利額を確保していく。
- ◆ ゴルフ事業: 10%を超えるアイアンのマーケットシェアを、好評のJPXシリーズなどで更に向上させていく。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

11年度実績（2Q累計）米州

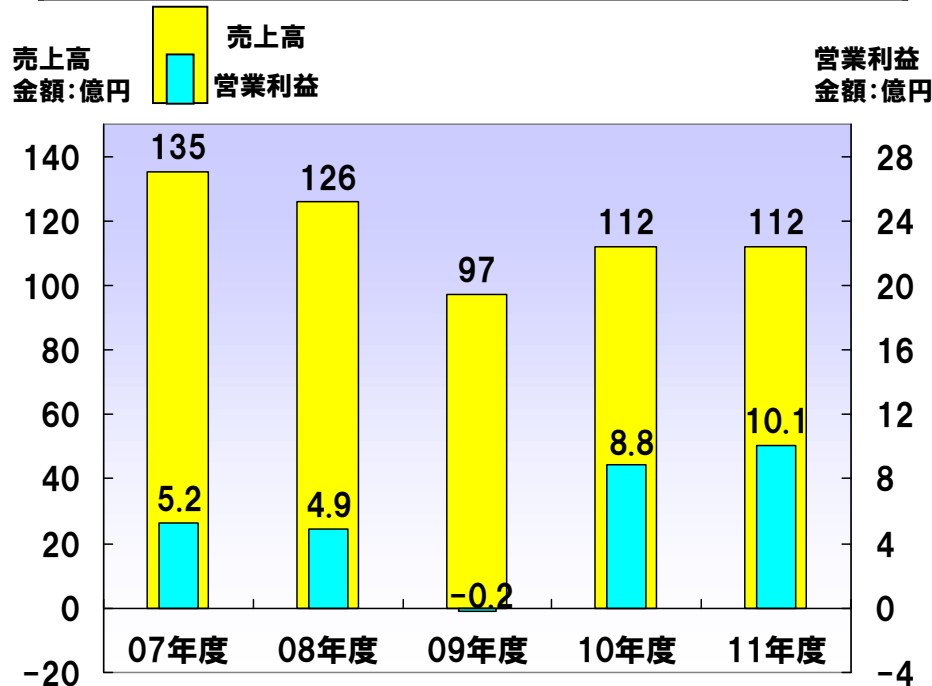


◆ 実績概要と推移

▶ 11年度2Q累計 実績(事業別)

金額:億円

	米州計	フットウェア & アパレル	ダイヤモンド	ゴルフ
売上高	112	49	41	22
前期比	100%	107%	94%	94%
為替影響 除く	110%	118%	104%	104%



◆ 11年度 状況

- ◆ フットウェア & アパレル事業: ランニング品、バレーボール品とも順調に売上を伸ばす。
- ◆ ダイヤモンド事業: 主力の野球グラブは前年並みであったが、シューズ、バットなどその他の分野で売上増を果たす。
- ◆ ゴルフ事業: JPXシリーズの好調などで売上高の減少に歯止めがかかり、現地通貨ベースでは対前年プラスに。

◆ 今後の施策・展望

- ◆ フットウェア & アパレル事業: 前評判の非常に高いウエーブライダー15を中心に更なるシューズの拡販に努める。
- ◆ ダイヤモンド事業: 高付加価値な商品群の販売を強化し、ブランドポジションの再強化を図る。
- ◆ ゴルフ事業: カスタムフィッティングを更に進化させることにより、売上回復を確実なものとする。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

11年度実績（2Q累計）亜・豪州（日本からの輸出を除く）

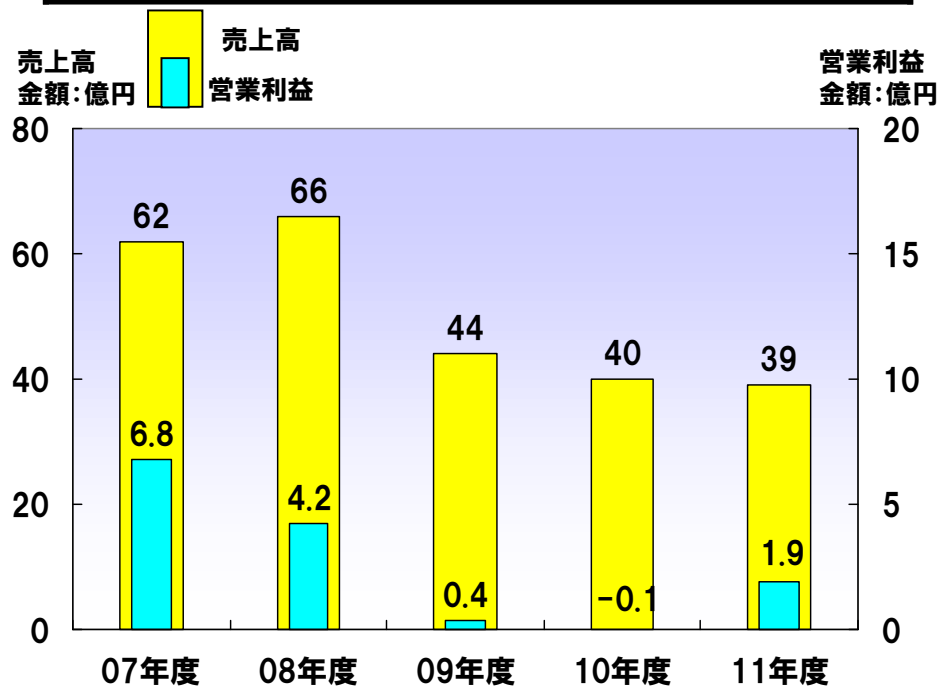


◆ 実績概要と推移

▶ 11年度2Q累計 実績(事業別)

金額:億円

	アジア計	フットウェア & アパレル	ダイヤモンド	ゴルフ
売上高	39	31	2	6
前期比	99%	101%	107%	91%
為替影響 除く	103%	106%	109%	94%



◆ 11年度 状況

- ◆ 中国：店舗再編・在庫圧縮などの経営効率化に目処。収支は大幅改善。
- ◆ 台湾：現地での高いブランドポジションの下、増収増益が続く。
- ◆ 生産：販社サイドの受注増加に伴い、生産子会社の業績も改善。

◆ 今後の施策・展望

- ◆ 中国：既存店舗での売上増、利益改善の対策を引き続き進めるとともに、成長地域での新規出店も検討していく。
- ◆ 豪州：ランニング品を中心に新規取引店を拡大し、対前年2桁の成長を目指す。
- ◆ 生産：素材・設計・生産地の見直しなどにより原材料費・人件費上昇への対応を図る。

注) 事業別実績は社内管理資料に基づく

最後に



◆ 事業スローガン 「Go with Passion!」

2011年度前半は、震災影響による日本のゴルフ事業の大幅な売上減があったものの他の商品群の売上でカバーすることができ、また海外事業も堅調に推移しています。欧州金融危機、原材料価格の高騰、タイの洪水のような生産拠点リスクなど、不透明な経営環境がまだまだ続きますが、企業体質強化・変革推進の好機と捉え、対応してまいります。

2011年度 年度方針

心機一転
信頼創造
考動闊達